

自主的環境保全活動の取り組み状況

(事業所名) 山陽特殊製鋼(株)

1 環境保全活動に関する方針等

1-1 環境保全活動に関する方針

【理念】

我々は、地球温暖化、大気・水質・土壌の汚染、廃棄物問題などの環境問題が人類共通の重要課題であることを認識し、北に世界文化遺産国宝「姫路城」、南に瀬戸内海国立公園を臨む豊かな環境に立地する企業として、事業活動の全ての段階において、環境の保全に配慮し循環型社会の構築に貢献する

【方針】

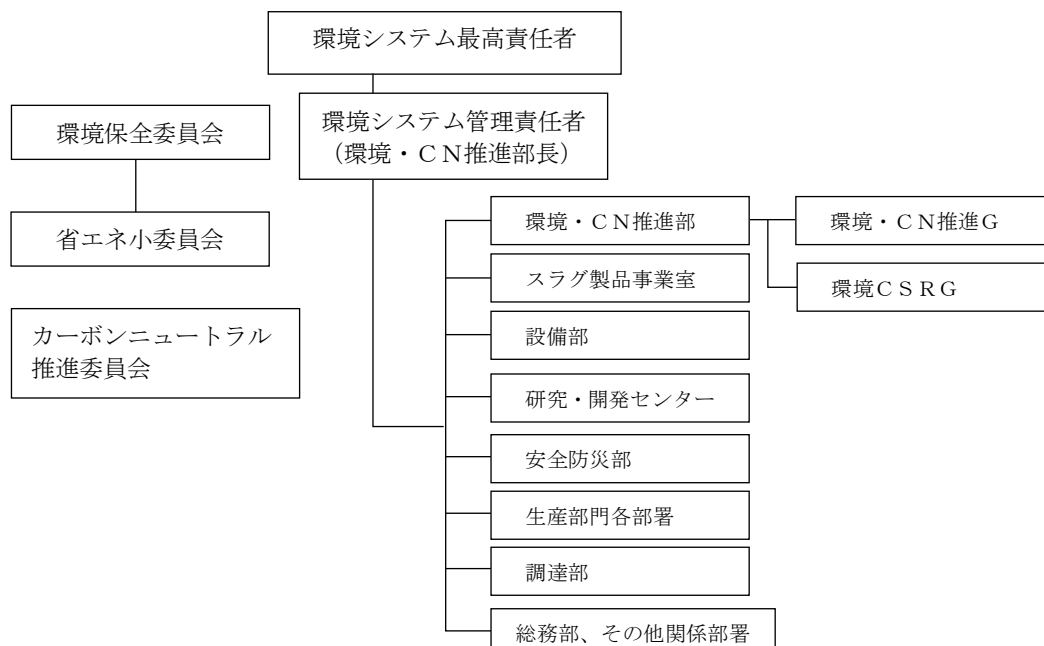
当社は、特殊鋼及び非鉄金属を製造・販売する工場であることを踏まえ、以下の方針に基づき環境マネジメントを実施する。

- 鉄スクラップを原料とする鉄鋼製品の製造を通じて、金属資源のリサイクルに貢献する。
- 環境関連の法律、規制、協定等を順守するとともに、環境パフォーマンスを向上させるために、環境マネジメントシステムの継続的改善に努め、環境に影響を与える恐れのある事業活動を責任をもって管理する。
- 事業活動のすべての段階で環境への負荷を低減し、環境保全、気候変動の緩和に貢献するため、省資源・省エネルギー、副産物の再資源化・廃棄物の削減、及び汚染物質・温室効果ガスの排出抑制を推進し、また、環境負荷低減に貢献する製品を開発し、環境汚染の予防に努める。
- 環境保全活動を取組むにあたり、従業員一人一人の環境意識の啓発に注力する。
- この環境方針達成のために、環境目標を設定するとともに、少なくとも1年1回これを見直し、必要に応じて改訂を行う。
- この環境方針を全従業員に教育訓練により周知徹底させ、環境システムを確実に運営管理するために、環境・CN推進部長を環境システム管理責任者に任命する。

(目標・計画等の公表の方法)

毎年発行している統合報告書にて公表し、当社ホームページにも掲載しています。

1-2 環境保全活動に関する組織体制



2 環境保全活動の実施状況等

項 目	取組結果		今後の取組計画
エネルギー対策 (地球温暖化対策)	●CO ₂ 排出量の削減	◆ボイラー更新による省エネ ◆照明のLED化による省エネ ◆旧型エアコンの更新による省エネ ◆太陽光発電による再エネ活用 ◆生産性向上によるエネルギー節減 ◆カーボンニュートラル(CN)推進委員会の開催(4回/年)	●加熱炉のリジェネバーナ化による省エネ ●加熱炉の耐火物改良による省エネ ●生産性向上によるエネルギー節減 ●CN推進委員会の継続開催
副産物の再資源化	●生産活動における副産物の低減と資源の有効利用	◆汚泥、レンガくずについては、環境安全性と経済合理性に配慮しながら新規リサイクル用途を検討	●ダスト、汚泥の埋立処分量削減やレンガくずのリサイクル率向上の推進
工場緑化の推進	●工場内緑化の保守 ●植樹による景観の整備	◆緑地の剪定及び手入れ、植樹の実施	●継続推進
環境マネジメントシステム	●環境マネジメントシステムの維持と継続的改善	◆外部審査機関によるISO14001のサーベイランス審査 ・R7年3月6日～7日実施	●システムの維持・改善 ・R8年3月 定期審査 予定
自動車対策	●自動車排ガスの削減	◆ハイブリッド車の有効利用 ◆製品物流のモーダルシフト ◆船舶輸送比率の向上	●継続推進
環境教育・訓練	●環境保全に関する従業員教育を実施 ●環境パトロールの実施 ●環境連絡会議	◆環境保全に関する新入社員、班長、班長代行への教育実施 ◆環境側面を所有する部署を対象に環境教育の実施 ◆各職場における環境汚染防止訓練の実施 ◆子会社への環境監査の実施(2社2工場) ◆役員・部署長による環境施設のパトロールを実施(1回/月) ◆環境意識の向上、コンプライアンスの徹底に向けた意見交換による環境情報共有 ◆役員・部署長による社外廃棄物処理施設の視察を実施(3回/年)	●継続推進 ●子会社に対し、順次環境監査の実施(1社/年) ●全社員(子会社含む)を対象に環境教育の実施 ●社外廃棄物処理施設の視察を継続実施
環境コミュニケーション	●環境情報の公開 ●地域の美化活動	◆統合報告書の発行 ◆姫路駅・工場周辺の清掃活動 ◆藤ノ木山自然公園の環境保全活動	●年1回発行の継続 ●清掃活動の継続実施 ●藤ノ木山自然公園の環境保全活動の継続実施